

普及活動情勢報告（平成26年5月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

信頼されるグロリオサ産地の維持に向けて～出荷目慣らし会～



真剣な眼差しで目慣らしする生産者

JA 高知市三里園芸部花き部会では、5月9日、夏の切り前変更に伴う目慣らし会を開催し、普及所も会の進行を支援しました。花を切る農家と出荷場の選別業者との意識統一、情報共有をすることで、ばらつきのない安定品質を確保することが目的です。

農家からは、切り前が気になる場合は随時確認する、との前向きな意見があり、引き続き信頼ある安定品質の維持に向けた取り組みをすることで意識統一されました。

今後も普及所では、栽培技術・出荷に関する情報提供など、グロリオサの経営を支援していきます。

毎日の栽培管理に気をつけて、いいオクラを作ろう!!



圃場ごとに意見交換…

JA 高知市介良支所オクラ部では、5月14日に現地検討会を開催し、部員6名全員が参加しました。各圃場を現地巡回したあと、普及所はこれからの栽培管理（追肥・害虫対策）について説明しました。

農家からは、追肥の量やタイミングについて具体的な質問があり、お互いに意見を出し合うなど、栽培管理について理解が深まりました。

今後も普及所では、巡回等を通じて、オクラの生産安定に向けた栽培技術指導を行っていきます。

栽培管理の徹底と天敵利用でよいナスづくりを!!



バンカー植物の天敵を確認する生産者

JA 高知春野ナス部会の現地検討会が5月21日に開催され、5名の生産者が出席しました。検討会では、春鈴ナス、促成米ナス、後作米ナスを巡回し、各圃場で肥培・温度管理、整枝等について検討しました。あわせて、単為結果ナスを育成している農家の圃場を巡回し、これまでの状況の説明を受けました。

普及所からは、天敵実証試験の途中経過について説明しました。これまで春野地区では天敵の利用がなかうまくいかず、導入が進んでいませんでしたが、今回は十分な防除効果が確認でき、次年度は取り組みたいという声も聞かれました。

今後普及所では、他産地に遅れをとっている天敵利用農家の拡大を図っていきます。